

行政報告

一 新型コロナウイルスへの対応について

中華人民共和国において感染が拡大し、日本国内においても感染が確認されている新型コロナウイルスへの本市の対応としましては、新型コロナウイルスが、閣議決定により「指定感染症」及び「検疫感染症」とされた一月二十八日に「防府市新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、部長職員による「新型コロナウイルス対策情報共有会議」を開催し、感染予防のための取組の実施や地域経済への影響を把握することなどの指示をしたところでございます。

先日には、厚生労働省から、イベントの開催に関する通知が出されたことを受け、二月二十一日に「新型コロナウイルス対策幹事会」、二月二十五日に「第二回防府市新型コロナウイルス感染症対策本部会議」を開催いたしました。

現在、本市では、感染の予防に重点を置き、小中学校や庁舎内はもとより、公民館や指定管理者が運営している施設等にアルコール消毒液やマスクの配布を行うとともに、市広報やホームページに、相談窓口の案内や感染予防について掲載し、市民の皆様への広報に努めております。

また、二月二十五日に国が「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」を決定し、発表しました。本市におきましても、「第三回防府市新型コロナウイルス感染症対策本部会議」を開催し、市主催行事等への対応についての指示をしたところでございます。

今後も、国や県と緊密に連携するとともに、市議会と一体となって取り組んでまいり所存でございます。

二 野島・三田尻航路における新船建造について

有限会社野島海運では、二月十一日に予備船「のしま」の「定期航路ラストラ」と「お別れ式」を行いました。これに代わる新たな予備船「レインボーのしま」につきましては、二月七日に三重県四日市市において進水式を終え、三月二十二日に竣工披露式を行う予定としております。

「レインボーのしま」につきましては、他の航路への貸出しに加えて、防府観光コンベンション協会と一体となって、クルーズなどへの活用を図ってまいります。また、これを契機として、野島地域の活性化にもつなげていきたいと考えております。

三 防府市スポーツセンターのネーミングライツについて

この度、本市初となるネーミングライツを防府市スポーツセンターに導入し、公募の結果、命名権者を「キリンビバレッジ株式会社」、愛称を「キリンレモンスタジアム」に決定しました。契約期間は、令和二年四月一日から五年間でございます。

キリンレモンは、今年で九十二周年を迎える子供から高齢者まで愛飲されている国民的な清涼飲料であり、本市のイメージアップにつながるものと考えております。

今後、積極的に愛称の定着と普及を図ってまいります。

四 学校教育におけるICT化の推進について

学校教育におけるICTを効果的に活用した確かな学力の向上を図るため、令和三年度から市内の全小中学校で、ICT教育を本格実施できるよう国の経済対

策である「令和元年度補正予算」を活用し、本市では、この度の補正予算と新年度予算とを併せ、令和二年度中に全ての小中学校に高速大容量の通信ネットワーク環境を整備するとともに、全児童生徒に一人一台のＩＣＴ端末を配備することを計画しております。